

委員会活動

基地問題で国へ要請 基地対策特別委員会

参加議員：原議長、谷副議長、森委員長、福島副委員長 要請先：防衛施設庁、防衛庁、外務省、総務省

8月2日、基地対策委員会の正副委員長が、正副議長、石塚町長と防衛施設庁などに要請活動を行いました。主な内容は、防音工事、補助事業見直し、情報の提供などの改善と、改めて軍民共用化反対の意思を伝えるものです。参加議員からは、国に対し「騒音被害の少ない自治体よりも被害を受けている自治体への交付金が少ないのはおかしい。現状の制度が実態と乖離している」と厳しく詰問する場面もありました。



外務省での要請

元狭山コミュニティセンターを視察

総務常任委員会



オール電化の調理用実習室

9月15日、総務常任委員会にて、元狭山コミュニティセンター（11月25日オープン予定）を視察しました。担当課である地域振興課の職員から説明を受けた後、各室ごとに設備の状況や安全対策など、細部にわたって実地検証を行いました。

創作童話募集

子どもたちに夢のお話をプレゼントしませんか。
前号より最終ページに皆様から寄せられた創作童話を掲載しています。皆様もすてきなお話をプレゼントしませんか。瑞穂町に在住、在勤、在学の方ならどなたでも結構です。字数は400字詰め原稿用紙2枚以内です。ご興味のある方は議会事務局までご連絡ください。

電話 557-7693

委員会視察報告

総務常任委員会

5月23日(火)～25日(木)

◎吉岡 忠 ○谷 四男美 木原 武雄 福島 千恵子 森 亘 原 成兆

●市の談合防止策、わが町にも導入

滋賀県近江八幡市

本年2月、わが町で業者間の談合が発覚した。総務委員会では、談合防止にいち早く取り組んだ近江八幡市を視察地に選定した。市では、独自に談合防止マニュアルを作成するとともに県警と県職員を招聘し、厳しいチェックを行っていた。また、入札内容や、工事成績も一般公開することであった。早速、町でも当市の取り組みを参考に、不正防止策の改善を行った。



伊賀市役所内での研修

伊賀市の住民自治の単位は小学校区域であった。また、各組織には運営協議会があり、年次計画を策定した各団体には交付金を支出していた。また、NPOが28団体と市民の自主活動が盛んであり、自ら指定管理者になった自治組織もあった。町でも適正な自治運営の組織形態を検討するよう委員会から提言を行った。

●住民自治の単位は小学校区域

三重県伊賀市

厚生文教常任委員会

7月4日(火)～6日(休)

◎尾作 武夫 ○小野 芳久 小山 時夫
小池 信一郎 大坪 国広 小川 龍美

●来館者が絶えない図書館

北海道網走市

市図書館は、H12年にオホーツク・文化交流センター（免許の更新、研修室、音楽練習室などを完備）との複合施設として落成した。この図書館は市の中心部に位置し、来館者が絶えないほどであった。さらに希望者には、図書の宅配サービスを職員が行っていた。

町においても多くの町民が身近に利用できる施設が必要であると痛感した。



宅配サービスも行っている網走市立図書館

●毎月19日を教育の日

北海道幕別町

毎月19日を「幕別町教育の日」と定め、町全体の問題として取り組んでいた。この日は、子供たちに対して、大人が「当たり前」の当たり前にする」ということを心掛けるものであった。特に、事業を推進する中で、町民が教育振興や教育再生に対し、意欲的になったことは大いに参考になった。